

令和4年

# 第10回教育委員会会議録

(開会 令和4年9月30日)

(閉会 令和4年9月30日)

岐阜県可児市教育委員会

令和4年9月30日午前9時00分開会  
会場：市役所5階第1委員会室

#### 出席委員

堀部好彦君（教育長）  
長井知子君（教育委員）

丹羽千明君（教育委員）  
伊藤小百合君（教育委員）

#### 欠席委員

小栗照代君（教育委員）

#### 説明のために出席した者

渡辺勝彦君（事務局長）  
佐野政紀君（学校教育課長）  
上北泰久君（学校教育課主任指導主事）  
真野純次君（学校教育課指導主事）  
木村千恵君（学校教育課学校支援係）

飯田晋司君（教育総務課長）  
佐藤一洋君（学校給食センター所長）  
三宅愛彦君（教育研究所主任指導主事）  
福田真弓君（学校教育課学校支援係長）  
杉本和昭君（教育研究所指導主事）

#### 出席委員会事務局職員

木村彰伯君（教育総務課総務係長）

小池拓哉君（教育総務課総務係）

#### 日程及び審議結果

1 開 会

2 前々回、前回会議録の承認

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

①議案第22号 可児市学校給食センター運営委員会委員の解嘱及び委嘱について  
(原案可決)

②議案第23号 令和4年度全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いについて  
(原案可決)

③議案第24号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について  
(原案可決)

6 各課所管事項

7 委員からの提案協議事項

8 その他

9 閉 会

### 開会の宣告

- **教育総務課長（飯田晋司君）** それでは、本日、小栗委員は御欠席ということでございます。

教育長お願いいたします。

- **教育長（堀部好彦君）** 皆さん、おはようございます。

第10回の教育委員会会議を開催させていただきます。

定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するというところでよろしくお願いいたします。

ここで教育長職務代理者の指名について触れたいと思います。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条2項で、教育長に事故があるとき、または教育長が欠けたときは、あらかじめその指名する委員がその職務を行うことになっています。この委員は教育長の指名ということになりますが、慣例によりまして、10月1日から4年目委員の小栗委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いをします。

### 前々回、前回会議録の承認

- **教育長（堀部好彦君）** 続きまして、前回及び前々回会議録の承認について。
- **教育総務課長（飯田晋司君）** 前回及び前々回会議録、変更はございません。
- **教育長（堀部好彦君）** 変更なしということでよろしくお願いたします。

### 教育長報告

- **教育長（堀部好彦君）** では、続いて教育長報告に移ります。

2点お話をさせていただきたいと思います。

1点目ですが、本日9月30日をもって任期満了となる丹羽委員の後任として、下恵土在住の梶田知靖さんが、8月23日、第5回議会定例会開会日に議会の同意を得て、10月1日付で任命されることとなっておりますので御承知おきください。これが1点目です。

2点目です。今月初めに草潤中学校の視察に私たち出向いたわけですがけれども、この視察につきましては、事務局の御担当の方々の御努力・御配慮で大変有意義で楽しい研修となりました。改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

この研修には、研究所の職員も同席ということで、教育委員プラス事務局の者で不登校対策について学んできたわけですがけれども、今後この研修を生かして来年度以降の施策に反映させていきたいと思っております。そのため、教育委員の方々におかれましても、教育委員会会議だとか、いろんな場で、不登校対策につきましていろいろ御示唆をいただけるとありがたいなあと思っております。

この研修についてのいろんなことを思うことがありました。1点ここでお伝えをしたいなあと思っています。それは、不登校対策ということではない別の視点で感じたことをお話しさせていただきたいなと思っております。

井上博詞校長先生から感じたことなんですけれども、大変熱意を持って取り組んでおられる方やなあとということをお聞きして思っています。いろんな印象的な場面、お話がありました。例えばトイレの話が非常に印象に残りました。古いトイレでは不登

校の子供来ないよと。ホテル並みのぴかぴかのトイレに非常にこだわって、多くの予算が要るんだけど、この学校の施設・設備等でずうっと1年以上前から計画をしていたら関係部局の方に、途中からこのトイレではあかんで、もっと金かけてやってくれということをお願いしたら、とんでもないと。一年、二年かけて計画してきているものに、そんなお金はまた余分につけられんということで、かなりやり合ったそうです。でも、自分の信念を押し通して、あのようなきれいな上品なトイレの空間を造った。子供たちにも好評だよという話を聞いたんだけど、そういった子供ファーストの考え方に基づく校長としての立ち回り、すごい熱意やなあと思いました。

また、これも皆さん見られたと思うんですが、校長室の扉に掲げてあった子供たちへのメッセージ、覚えておられますか。校長室にも自由に入ってきてねと子供たちにはアナウンスしている。校長先生と自由に話せるような空間を、校長室もオレンジ色のソファで造っている。その校長室に相談事やお話をしたいということで子供たちが自由に入ってきたんだけど、お客様がいらっしゃったら普通入れないですよ。子供たちは遠慮するだろうと。きっとああいう学校ですから、お客様は多いやろうね。そうすると、結局校長室に自由に来てくれよなんて言っているんだけど、行けへんやないかということになりかねないということなんですか、こんなメッセージがありました。

今、あなたの話を聞く以上に大切な来客は私にはいない。これも子供ファースト、このメッセージを読んだときに、何と子供ファーストに徹している方なんだということで私も感銘を受けました。子供ファーストと言ったんだけど、「ありのままの君を受け入れる」というのがあの学校の理念でしたよね。それを見事に校長は体現しておられるなあということを思っています。今言った校長室のメッセージだとか、トイレのことは、ありのままの君を受け入れる子供ファーストに徹している井上校長の教育理念そのものなんだろうなあと感じました。

そこで思ったことは、草潤中学校の準備は校長がやったのではないと思います。箱物だとか、教育課程の編成だとか、いろんなことはやはり当然設置者である岐阜市が、岐阜市教育委員会が、組織的な取組でこの学校の準備をして設立をしたんだろうと思っています。私もそういった岐阜市の考え方、岐阜市がつくってきた学校の様子を見に行こうかなというスタンスで行ったんだけど、こういった井上校長先生のお姿、言動を拝見したときに、草潤中学校は岐阜市が準備したかもしれないんだけど、この学校をつくり上げているのは校長やなあと、井上校長先生が草潤中学校をつくり上げておられるんだなと感じました。

私は常々、学校は校長の教育理念のようになっていくよというふうに思っています。教育理念が浅ければ浅い学校、教育理念が深ければ深い学校になっていくんじゃないかなあとは思っています。校長の教育理念が学校をつくるというふうにならずうっと思ってきたので、そのことを井上校長先生のお姿から再確認できたなと思いました。だから、不登校対策ということで学んだということに加えて、今のようなことを思いました。

私たちは、来月笑顔の学校公表会を迎えます。研究所の御努力で大変いい公表会になる予感をしておるわけですが、その公表会では、それぞれの学校が捉えている「笑顔の“もと”」を明示していただいて、それを具現するための取組ということで授業と具体を示していただきます。

そこで教育委員さん方をお願いをしたいのは、映像をいろいろ見ていただくわけですが、けれども、「笑顔の“もと”」は、校長と教職員が一緒になって考えて導き出したものであるんだけど、恐らくそこには校長の教育理念がにじんでいると思われま。それぞれの学校がどんな「笑顔の“もと”」を主張しておられるのかな、イコール校長はどんな教育理念を持ってやっておられるのかなということ、そういった視点で見ただけだとありがたいなあと。きっと井上校長と同じように、自分の教育理念を具現していくための奮闘ぶりが感じられるのではないかなあと思っています。そんな視点で見ただいて、またいろんな場でそういったことを交流できるといいかなあと思いました。

以上、草潤中学校の研修で、不登校対策以外のところで思ったところをあえて今日お話をさせていただきました。以上で話を終わりたいと思います。

### 教育委員報告

- 教育長（堀部好彦君） では、教育委員報告に入りたいと思います。
- 教育委員（丹羽千明君） 皆さん、おはようございます。よろしくお願ひいたします。

前回の教育委員会会議以降の報告をさせていただきます。

まず、8月30日に「笑顔の“もと”」ロゴマーク選考会がございまして、教育委員代表ということで私が参加させていただきました。教育長含め7名の委員でいろいろ協議しました。27作品ある中で、市民投票を経て、全会一致で1つの作品に決めることができました。今後修正等を行い、それから発表する運びになるかと思ひますけれども、また事務局の経過報告を後でしていただきたいと思ひます。

それから9月8日、教育長もおっしゃいましたけれども、教育委員会の研修を企画していただきましたどうもありがとうございました。午前中は岐阜関ヶ原古戦場記念館を見せいただきました。ちょうど2年目に入ったところになるということです。シアターで迫力ある映像とか音響を聴いた後、また史料を見せていただいて、最後には5階の展望台から関ヶ原を見渡しまして、大変昔に戻ったような気分させていただきまして本当にありがとうございました。全国から大変多くの方が御来場されているということをお聞きしてきました。

それからその後、先ほど教育長おっしゃいましたけれども、草潤中学校を見学させていただきました。東海地区で初めて公立の不登校対策の認定を受けた学校ということでございます。私も不登校に対する考え方がちょっと違っていたなと感じました。不登校というのは、早く発見して、早く対策して、学校へ早く戻れるようにということで、スマイリングルームの目的の中にもそういうことがうたってあるんですけど、草潤中学校の場合は一人一人尊重するというか、決して可児も尊重していないわけじゃないのですが、無理やり戻すというような考え方じゃなくて、もっと生徒の自主性を重んじているように感じました。ありがとうございました。

それから、9月13日に総合教育会議ということで、市長といろいろテーマで話すことができました。教育委員としてコミュニケーションを取ることができました。ありがとうございました。

それから、今渡北小学校を、私1人ですけど訪問させていただきました。学校の様子

などを伺ってまいりました。まず、来年度の4月には児童数が1,000人を超えることになりましたというようなことでしたので、教室の対策とかも今されているとは思いますが、今後外国籍の方が増えるということも考えられますので、また早めの対策を考えていただければと思います。

あと、トイレのほうで4か所、トイレの新設と改修ということをされていました。プレハブ教室の隣に新設のトイレ、あと東側の女子職員のトイレの改修ということがされておりまして。

以上、報告になります。ありがとうございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

ロゴマーク選考会では司会・進行を丹羽委員にやっていただきまして、私としては会議がどういうふうになっていくんやろうなあと、どうやってマークを絞り込んで、どういうふうに決めていくということについては、心配していました。大変うまくやっていただきまして、とてもいい会になりました。本当にありがとうございました。

それから、今渡北小学校への訪問につきましても、今報告をいただきましたが、最後の最後まで教育委員としての務めを尽力される姿に本当に敬服しております。本当にありがとうございました。

○ **教育委員（長井知子君）** おはようございます。よろしくお願いします。

9月の頭に行きました研修会のことを報告させていただきたいと思います。

草潤中学校に行ってきたのですが、草潤中学校は、簡単に言うと「ありのままの君を受け入れる新たな形」という学校で、そして子供が担任の先生を選ぶことができるという学校でした。教育長が言われたように、すごく印象に残っていることが校長室での話なんですけれども、来客中であっても、子供たちの、あなたたちの話を聞くことに勝ることはないといったメッセージが印象的でした。子供たちはきっとそういった校長先生や担任の先生方を見て、この人は自分を裏切らないだろうなとか、何かきっとそういった絶対的な安心感ができるんだろうなあとというのがありました。不登校は、あちらの先生方もおっしゃっていましたが、やっぱり理由が子供それぞれで、何がというのが正直分かりませんとおっしゃってました。不登校になる子供たちはすごく繊細な子供が多いということで、草潤中学校の取り組みは先生や大人との絶対的な安心感を育むところから、きっと安心から社会に出ていけるんじゃないかなあと思いました。先生たちの真摯に取り組む姿にとっても心を打たれました。

私たち親の子育ての目標は、子供たちが親元を離れたときに自分の足で立てる大人にすることかなあと思っているんですけども、あちらの先生がおっしゃっていたことで、もちろん先生たちなので、教員は不登校になった子供たちをどうしても教室や学校に来させたいという思いがあるんですけども、僕たちは違いますと。そこじゃなくて、社会に出られるように長い目で子供たちを見守っているんだなというのをすごく思ったので、本当に先生方も試行錯誤の中、いろいろ取り組まれて子供たちと向き合っているなと感じました。すごくすばらしい学校だったので、研修に行かせていただいて、すごく勉強になり、よかったなと思いました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** 長井委員が言われたこと、私も強く改めて感じたんですけども、社会の形成者としての資質は学校に来させることだけじゃないんだよという

ことで、いろんなありのままの君を受け止めるというスタンスで私たちが学んだこと、今、長井委員が言われたことを、やっぱり今後の研究所を中心にやっていただく不登校対策として、新たなものも加えながら今再構築していくところなんだけど、その精神の中に今の御発言は常にやっぱり持つておかないかなということは思いますよね。ありがとうございました。

○ **教育委員（伊藤小百合君）** おはようございます。よろしくお願いたします。

今月の13日に総合教育会議に出席しました。各教育委員が学校の設備だったり、コロナ禍の状況などから意見を言ったり、今後の課題に対して、市長からもそれに対してのお話がありましたが、具体的な話だったりとか、知らなかったことなども聞くことができました。短い時間でしたけれども有意義な時間となったと思っています。

また別件なんですけれども、先月新聞でちょっと見かけたんですが、教員採用試験についての記事がありまして、新型コロナに感染したために受験できなかった、試験を受けられなくて諦めざるを得なかったという記事が出ていました。すごく胸が痛くなったんですけれども、その載っていた記事は、常勤講師の先生で、ずうっと多分志を持って、正職員というか、正規の教職に就こうと思って頑張ってみえる方だと思えるんですけれども、高校生とかの受験は救済措置が今取られていますけれども、教員採用試験というのは取られていなかったんだというのを改めて知りまして、今教員不足ですごく現場が全国的にも困っているという話も聞きますし、学校訪問でもほとんどの学校が言ってみえた話でしたので、ここでということではありませんけれども、やっぱり教員を増やすためにも、ぜひそういう救済措置の検討を県からという形で、国にうまく持っていただけたらなというのを感じました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

今の採用試験の救済措置につきましては、本当に言われるとおりで、教員不足の中で救済措置がないことはいかななものかというお考えにつきましては、私もいろんな場で、今後県教委等に話をしていきたいなと思いました。ありがとうございました。

今、皆さんがおっしゃられたことを今後の参考にしていきたいと思っております。

## 議事

○ **教育長（堀部好彦君）** 次に、議事に入ります。

○ **事務局長（渡辺勝彦君）** では、議案書を御覧ください。

表紙の裏ページの目次のとおり、本日は議案が3件です。

議案第22号 可児市学校給食センター運営委員会委員の解嘱及び委嘱について、議案第23号 令和4年度全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いについて、議案第24号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、以上3件についてよろしくお願いたします。

○ **教育長（堀部好彦君）** 議案第24号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、その他の児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録については、個人情報やプライバシーに関する情報のため、また議案第23号 令和4年度全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いについては、今後の学校運営及び円滑な事業実施等を困難にする可能性があるため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることにし

たいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については非公開とします。

それでは、議案第22号 可児市学校給食センター運営委員会委員の解嘱及び委嘱についてを議題とします。

- **教育総務課長（飯田晋司君）** 議案第22号でございますが、丹羽委員につきまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第6項の規定によりまして、自己に直接の利害関係がある案件でございます。そのため本件議事に参与できないことになっておりますが、同項ただし書の規定によりまして、教育委員会の同意があれば、会議に出席し、発言することができますので、取扱いについて御検討をお願いいたします。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** 今、事務局の説明のとおり、教育委員の皆さんの同意があれば出席が可能ということですが、その点に御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、このまま出席を続けるということにしたいと思います。

では、議事について。

- **学校給食センター所長（佐藤一洋君）** それでは、1ページを御覧ください。  
議案第22号 可児市学校給食センター運営委員会委員の解嘱及び委嘱について。  
可児市学校給食センター運営委員会委員を下記のとおり解嘱及び委嘱する。令和4年9月30日提出、可児市教育長 堀部好彦。  
記、可児市学校給食センター運営委員会委員を次のとおり解嘱及び委嘱する。  
解嘱委員、氏名、丹羽千明。解嘱理由、教育委員退任による。解嘱日、令和4年9月30日。  
委嘱委員、氏名、梶田知靖。委嘱理由、教育委員就任による。委嘱期間、令和4年10月1日から令和5年3月31日（前任者の残任期間）。  
丹羽委員が9月30日に教育委員を退任されますので、新しく教育委員になられる梶田委員に給食センター運営委員会委員を委嘱するものです。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ただいまの事務局の説明について、御質問、御意見等ありますでしょうか。

よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

では、特にないようですので、この件については原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については原案のとおり承認をいたします。

#### 各課所管事項

- **教育長（堀部好彦君）** 続いて、各課所管事項に入ります。
- **事務局長（渡辺勝彦君）** それでは、私からはまず9月議会の状況について報告をいたします。

一般質問で教育委員会に関連する質問が2件ございました。

松尾議員からは、教員不足による弊害はないかについて御質問がありました。

まず教員の配置状況について問われ、本年4月1日現在では市内の小・中学校で3人の定数不足でありましたが、4月中に1人適切な人材を探すことができたため、5月では定員不足を2人に減らすことができたと回答しました。また、不足する2校におきましては、非常勤講師を配置することで影響を必要最小限にとどめることができたと回答させていただいております。教員の任命・配置につきましては、県教育委員会の役割ではございますが、人材探しについては市教育委員会でも行っていることを説明いたしました。

また、教員不足によりまして授業等に影響はないかとの御質問に関しては、現在未配置が発生している学校においては教務主任が担任を兼任しております。該当する学年や各指導部等の先生方が協力することで組織的に対応し、影響が出ないようにしていると回答しました。各学校とも校長先生の御指導の下、全職員、全教員でサポートすることで、今のところ授業などの教育活動に大きな影響は出ていないと答弁しました。いずれにおきましても、この教員不足の問題は、本市のみならず全国的な課題であるため、国が中心となって取り組むべき課題であると考えていると答弁しました。

それから、富田牧子議員からは、学校給食費への助成や無償化についての考えについて御質問がありました。

学校給食の費用負担につきましては、学校給食法第11条で必要な施設・設備に要する経費は学校設置者が負担すると。また、それ以外の経費は保護者が負担するということが規定されております。給食費の無償化につきましては、多額の一般財源を必要とすることや、こうした法の趣旨に鑑みて、現状においては無償化については考えていないと答弁しました。

また一方、助成については既に本年6月補正で行ったように、国の交付金を活用して食材費の急騰分を市が負担するなどの取組をしております。そういった意味で、既に実施していると説明しました。今後につきましては、さらなる物価上昇や国の交付金制度の状況などを勘案して判断することになるだろうと。今のところ、現状の給食費の額で安全でおいしい給食の提供に努めていきたいと答弁しました。

それからコロナの関係ですが、先週金曜日、県の新型コロナウイルス感染症対策会議が開かれました。その会議でも、本日をもって岐阜県が出しておりますBA5、対策強化宣言が終了します。全国的にも、県下でも感染者数がようやく減少しているところです。エッセンシャルワーカーへの4回目のワクチン接種も始まり、感染予防対策の在り方も少しずつ変わってきております。可児市におきましても陽性者の減少はしておりますが、先日もお知らせしたとおり、小・中学校の陽性者が出ている関係で学級閉鎖も生じているのも事実です。今後につきましても、国や県教委の指示の変化等に注意しつつ、引き続き気を緩めることなく対応していきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

私からは以上です。

- 教育長（堀部好彦君） ありがとうございます。
- 教育総務課長（飯田晋司君） 私からは2点報告させていただきます。

1点目は、「笑顔の“もと”」ロゴマーク選定の進捗状況についてでございます。

8月30日に選考会を開催いたしました。丹羽委員には、進行、議長を務めていただき、各中学校から選出していただいた全27作品の中から最優秀作品を選定いたしました。お手元にお配りしておりますロゴマーク作品一覧の一番左上です。一覧の作品ナンバー8が最優秀作品に選ばれました。選考会では、選考委員から、子供たちに大変独創性があり、それぞれに自身と向き合って「笑顔の“もと”」を考えてくれたことがすばらしいとの感想や、特によいと思う作品について複数の作品が上がるなどの話合いで進んでまいりました。

この最優秀作品につきましては、種が芽を出して成長をしていくことが感じられる点がいよなどの意見が出されたほか、小さな子供にとっても分かりやすく親しみやすい点や、市民投票の1位であることも尊重すべき要素であるとの意見のほかの委員も賛同され、最終的には8番の作品が皆さんの総意で選出されたものでございます。

また選考会では、この作品の「笑顔の“もと”」の文字を含め、手書き感を生かしてそのまま使用するほうがよいということになったんですけれども、ロゴマークとして使用する場合、一覧表のようなサイズで、しかもモノクロであることが多いと想定されるため、そのままだとやはり見えにくいということもございます。現在、先生を通じて作者の生徒本人に縁取りを入れたりしてもらうような補正をお願いしているところでございます。今後は、10月もしくは11月にも公表して、ロゴマークとして使用していく予定でございますので、御承知おきください。

それから、2点目でございます。

兼山小学校の小規模特認校制度の今年度の進捗状況についてでございます。

兼山小学校につきましては、昨年度、小規模特認校制度による募集を初めて行い、運用初年度の今年、5世帯8名の児童が同制度により通学をしております。今年度も基本的に昨年度と同様、新1年生から新6年生までを対象として制度を実施していく予定でございます。

また、今年度は10月11日から11月30日を申込期間として、10月と11月に各1回学校見学会、説明会を開催することとしております。今年聞かれた関係者の声として、従来からの児童や保護者からは「複式学級にならなくてよかった」、また制度を活用して通学する児童や保護者からは「楽しく通えている」など、おおむねよかったとの話が聞かれておりますが、これからも制度運用に関する手順など、細かな点で改善を図っていくよう検討しておるところでございます。以上でございます。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **学校教育課長（佐野政紀君）** 学校教育課です。お願いします。

夏休み以降の学校に関わる動きをお伝えします。

コロナについてです。9月29日、昨日付ですが、小・中学校合計416名、教職員20名の陽性判明の報告がありました。学級閉鎖は、夏休み以降は4校5学級です。現在閉鎖している学級はありません。直近1週間平均が700人を下回る見通しです。落ち着いている状況ですが、油断することなく感染症対策を進めていくように各学校には伝えていきます。夏休み以降、市内16校、順調にスタートをしています。前回の教育委員会会議では、学校には心配される児童や生徒に対して、家庭への電話連絡などを行い、スムーズ

に学校が始まりを迎えられるように配慮する指導をしていることをお話しさせていただきました。

特に希死念慮で報告が上がってきた児童・生徒については、担当指導主事が可茂教育事務所に報告して対応について情報を共有するとともに、各学校の生徒指導主事と夏休み中も連絡を重ね、再度定期的な家庭連絡を行い、様子を確認し続けました。中には、スクールカウンセラーの勤務形態を変えて夏休み中にカウンセリングを設定したケースもあります。こちらも大きな対応をすることなく順調にスタートしています。ただし、引き続き心配事案はありますので、丁寧に寄り添っていきます。先月の主な希死念慮の要因は、夏休み明けの不安、夏の宿題ができなかった、疲労、友人関係、恋愛関係、家庭の問題、かまってほしいなどいろいろです。

学校の行事については、運動会や体育大会は工夫をして実施しています。例えば学年ごとに3日間で行ったり、弁当をなしにしたりと様々です。

修学旅行や校外学習についても、10月、感染症対策に十分気をつけて実施しています。例えば修学旅行で関西方面に宿泊をしている学校は、1泊2日で研修を計画しています。朝の健康観察、食事はスクール形式、学校と同じように前を向いて黙食という形です。また、持ち物の中に、様々なことを想定してウェットティッシュなどを入れるなどの工夫をいただいているところです。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **教育研究所主任指導主事（三宅愛彦君）** お願いいたします。

では、別冊の教育研究所よりの冊子を御覧ください。

1枚はねていただいて、3ページをお願いします。

教育委員の皆様には既に送付させていただいておりますが、11月2日に開催します笑顔の学校公表会について確認をさせていただきます。

今年度の公表校は帷子小学校、旭小学校、東明小学校の3校となっておりますが、コロナの感染防止の観点により、昨年度と同様に動画配信をする予定であります。そのため委員の皆様には、11月2日水曜日14時より研究所にて動画を見ていただく予定であります。お忙しいとは存じますが、ぜひとも総合会館1階の研究所までお越しいただきますようお願いいたします。

先ほど教育長からもお話がありましたが、この笑顔の学校公表会は、可児市の各学校の校長先生の学校経営を基に育てられる未来の笑顔につながる「笑顔の“もと”」について、各学校の実践を子供たちの姿を通して発表していただき、その実践を基に全ての小・中学校において自校の「笑顔の“もと”」を育むための取組の現時点での成果と課題についても振り返っていただくというような会になります。内容については3・4ページのとおりですが、委員の皆様には約1時間半ですが、動画を御視聴いただき、感想や御意見、御指導、御助言を賜りたいと存じますので、何とぞよろしくをお願いいたします。

次、4ページです。

「笑顔の“もと”」重点事業につきまして、大きく1点、不登校対策について話をします。

まず、以前にもこの会議でお話をしましたが、可児市スクールカウンセラーのスーパー

ーバイザーである川原先生による講演会が、10月26日水曜日の15時から中恵土地区センターで行うことが決まりましたので、お知らせいたします。これは今年度から行う新しい取組ですが、研究所では「笑顔の“もと”」重点事業の中でも、不登校対策について何とか次の一手をといることを考えておるところに、まずこれを企画しております。現在、不登校傾向で全欠の児童・生徒の中の約8割が、学校にもスマイリングルーム等の外部機関にも通えていない実態があります。このような子供を持つ保護者の不安はとても大きいと思います。そこで、このような子供たちを持つ保護者を対象にして、どのように我が子に接していったらいいのかというテーマで川原先生には御講演いただく予定です。しかし、中には仕事で参加できないとか、ちょっと参加しづらいわという保護者もおられると思いますので、御自宅でもスマホ等で気軽に視聴できるよう、動画配信も予定しております。また、この講演会には教育相談担当の先生など、可児市内の学校関係者で希望される方々にも御参加いただく予定でありますので、御承知おきください。

もう一つ、草潤中学校の視察ですが、私たち研究所職員も本当に大いに勉強になりました。今この会議でもいろいろ話題になっておりますが、可児市にも当然不登校のお子さんはいらっしゃいます。先ほど丹羽委員や長井委員もおっしゃいましたが、学校という場への復帰だけにこだわらず、社会的自立というような大きい長い目で見たときに、今まで可児市が進めてきたコミュニケーション能力の育成というのが1つキーワードになってくるかなということをお考えしているところです。その一つにa1aとの連携強化というものもあると思いますし、子供の認知を変えるプログラムの作成等々いろいろ考えております。また具体的になりましたら御報告いたしたいと思っております。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **学校給食センター所長（佐藤一洋君）** 私からは1つ、去る9月15日に提供しました、がんばれかっこ！おうえん給食についての報告でございます。

これは、コロナ禍でも頑張っている子供たちを応援する、子供たちが笑顔になれるような献立を提供するということを目的としたものです。献立としましては、しょうゆラーメン、春巻、中華サラダ、バンバンジードレッシング、豆乳アイスでした。当日、中部中学校でケーブルテレビ可児の取材がありまして、21日から28日までの「かにみた！」の中で放送されました。子供たちの反響については、先ほどお配りしました資料を見ていただきたいのですが、大変好評でした。まだ暑い時期でしたので、豆乳アイスも楽しんでもらえたようでして、今回の献立の目的は達成できたのかなと思っております。

なお、今年度は市制40周年ということで、記念献立を5月に提供しましたが、あと2回、11月2日水曜日と年明けにも実施する予定です。11月は可児市の特色でもある多文化共生を取り入れまして、具体的にはフィリピンの料理を提供する予定です。

私からは以上でございます。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **教育委員（長井知子君）** 勉強不足で教えていただきたいんですけど、学校給食の子供たちの感想を書いた紙がありますけど、その給食連絡ノートとあるんですけど、そういったものがあるんですか。

- **学校給食センター所長（佐藤一洋君）** 給食センターと学校の間で毎日やり取りをしている連絡ノートがあります。こちらのほうで日々の給食の感想などを学校が書いてくれます。それについて、大体給食センターの栄養教諭の方がそれに対してコメントを返すみたいな形で、緩やかなコミュニケーションを取りながらやっています。
- **教育委員（長井知子君）** 学校側はどなたが書くんですか。
- **学校給食センター所長（佐藤一洋君）** 先生だったり、生徒だったりするみたいです。学校で一任しています。子供が書いてくれるときもありますし、先生は先生の立場で書かれることもあります。今回を見ていると、先生が書かれたものが多いのかなと思います。
- **教育委員（長井知子君）** 分かりました。ありがとうございました。
- **教育長（堀部好彦君）** 頑張れかにつこへという私たちの市のメッセージが、願いが通じていることがよく分かる連絡ノートの記載で私も大変うれしく読ませていただきました。ありがとうございます。  
ほかにございませんか。
- **教育委員（丹羽千明君）** 飯田課長にちょっとお尋ねしたいんですけど、学校の設備についてなんですけど、今渡北小学校が1,000人を超えるというようなことも伺ってきたんですけど、来年度何人になるかというのが各校大体そろってきた時期だと思うんですけど、支援学級が増えたり、外国籍の方がまた増えたりというようなこともあるかと思うんですけど、その辺の状況はどうでしょうか。
- **教育総務課長（飯田晋司君）** ちょっと今手元に資料がないんですけども、おおむね来年度こういうふうになりそうだという数値は、最近上がってきております。当然学校運営に支障があってははいけませんので、そのクラス数に合った形で、人数が最終的にどうなるかというのは結構ぎりぎりまで確定しないというようなこともありますので、注意を払いながら不足のないように対応していきたいと考えております。
- **教育委員（丹羽千明君）** 分かりました。ありがとうございます。
- **教育長（堀部好彦君）** 伊藤委員、よろしいですか。
- **教育委員（伊藤小百合君）** はい。
- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。

#### 委員からの提案協議事項

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、ないようですので、次に教育委員からの提案協議事項についてを議題といたします。

何かありますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」の声あり〕

それでは、今回の提案協議事項はなしということでよろしく申し上げます。

#### その他

- **教育長（堀部好彦君）** 次に、その他の次回の日程等につきまして、教育総務課長お願いします。
- **教育総務課長（飯田晋司君）** 先月決めていただきました10月14日金曜日ですけれ

ども、申し訳ありません。お手元の会議次第では10月14日金曜日午前9時からとなっております。これは間違いでございます。午後1時からでございます。訂正をお願いいたします。10月14日午後1時からお願いいたします。場所は5階の第1委員会室です。終了後に、令和4年度の主な教育予算について教育政策会議を実施したいと考えております。よろしく申し上げます。

また、議会の教育福祉委員会の川合委員長から、11月に教育委員と教育福祉委員会委員との懇談会ができないかということで提案がございました。ということで、その懇談会と併せて教育委員会会議の11月の日程でございますが、11月10日木曜日はいかがでしょう。よろしいですかね。

〔「大丈夫です」の声あり〕

そうしましたら、11月10日9時から教育委員会会議、同じ日の午後1時から教育福祉委員会との懇談ということで予定をお願いいたします。以上でございます。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。では、11月10日9時から教育委員会会議、同日午後1時から教育福祉委員会との懇談ということでよろしく願いをします。

続いて、1時間近くたっているんですけども、いいですかね、このまま続けて。よろしいですか。

〔「はい」の声あり〕

（以下非公開）

（以上非公開）

#### 閉会の宣告

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、以上全て終わりましたので、これにて教育委員会会議を閉会します。ありがとうございます。お疲れさまでした。

閉会 午前10時35分